

プレミアム付き商品券「きりゅう商品券」発行について (改訂継続)

桐生市の商業は、消費需要の低迷、商圈人口の減少・高齢化や、IT技術の発達等による消費行動の多様化などにより、大変厳しい状況が続いております。地域経済の分析システムREASASにおいても、桐生市から他都市への消費の流出が読み取れます。

このような状況を脱するために過去5回実施していただいた商品券発行事業については、消費者と商業者から多くの歓迎の声が寄せられています。前回の実施後に行った調査においても、その経済効果は10億円を超えるものであったとの結果が出ており、登録店においても、実にその96%が次回も取扱店として登録するとの回答をいただいております。今後の事業実施に大きな期待の伺えるものでした。

なお、昨年10月から消費税増税対策の一つであったキャッシュレス・ポイント還元事業も本年6月までとなっており、買い控えも懸念されます。

また、1月からの新型コロナウイルス感染症での感染拡大防止対策により、飲食業、小売業だけでなく様々な企業に影響が出ております。

つきましては、これ以上の景気悪化とならないためにも、商業の活性化には欠かすことの出来ない消費の喚起・購買意欲の拡大につながる施策として、プレミアム付き商品券の発行について、特段のご配慮をいただきたく、強く要望いたします。

桐生市からの回答

プレミアム付き商品券につきましては、令和元年度は、消費税・地方消費税の10パーセントへの引上げが低所得者・子育て世帯の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起・下支えすることを目的としたプレミアム付き商品券を発行いたしました。本事業においては購入対象者に制限があるものの、消費の喚起、購買意欲の拡大といった側面から一定の効果があったものと考えております。

さらに、今年度につきましては、令和2年桐生市議会第2回定例会の補正予算において、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた、地域経済の停滞解消を図るとともに、市民の購買意欲拡大のための「地域経済応援事業」として、また、子育て世帯への経済的負担軽減及び地域経済の活性化を図るための「子育て世帯応援事業」として、「地元で使って、地元を支える！ 桐生応援プレミアム商品券」を発行することとなりました。

プレミアム率を過去最大の40パーセントに設定した本商品券には、「地域経済応援事業」として当初発行を予定していた40,000セットを大幅に上回る購入申し込みがあり、先般、商品券の積極的な活用など、地域の経済活動と感染拡大防止の両立を目的とし、市民代表・事業者代表・行政の3者で行った「桐生応援共同宣言」を踏まえ、本事業に対する市民の期待の高まりに応えるため、発行する商品券のセット数を62,200セットまで増刷いたしました。

商品券が利用できる取扱店も8月25日現在で過去最多となる765店舗の登録をいただいております。多くの皆様の御協力の下、本商品券が利用されることで、地域経済の好循環が

創出されるものと考えております。

[回答担当] 産業経済部商工振興課商業金融担当